

市民セミナーヨ 2020

韓国カトリックの起源に関する仮説 ～長崎と朝鮮人～

韓国の全人口の約11%がカトリックとされるが、その起源には諸説ある。

秀吉の朝鮮出兵（壬辰倭乱）の後、九州には約2～3万人、長崎には数千人の朝鮮人が住んでいたと推定される。

彼らが住んでいた「鍛冶屋町、皮田町、新高麗町」とは？ 伊勢町にあったという「聖ロレンソ教会」とは？ 禁教時代、キリシタン隠滅のために建てられた「龍淵寺」とは？

長崎にいた朝鮮人を研究する李氏は「韓国カトリックの起源は長崎ではないか」という仮説を立てた。

◆日時：2020年7月18日(土)13:30～14:30

◆会場：浦上キリシタン資料館コミュニティースペース
長崎市平和町1-1-19 TEL:095-807-5646

◆講演：^り ^せ ^{ふん}
李世勳（長崎大学多文化社会学部研究員）

1959年韓国大田市生まれ、84年大学卒業後来日

1990年一橋大学大学院経済学研究科博士課程修了

その後30年間、日韓でニッセイ、三星、デロイトなどで
様々な社会経験を積む

2020年1月から長崎大学多文化社会学部客員研究員

関心事は長崎と朝鮮人のことであれば何でも調査中



◆参加費：500円 ◆定員：新型コロナウイルス対策で20名で〆切

◆お申し込み：浦上キリシタン資料館 TEL:095-807-5646

※お名前とご連絡先をご連絡ください。

◆企画・問い合わせ： **アジェンダNOVAながさき**

～長崎の文化を考える会～ <http://feature.jp/agenda>

代表 林田慎一郎 090-7923-7435 linden@ae.wakwak.com